



愛知県立大学
Aichi Prefectural University



新大学誕生 **10** 周年
長久手移転 **20** 周年

愛知県政記者クラブ・名古屋教育・医療記者会
瀬戸市記者クラブ 同日発表

令和2年8月31日（月）

愛知県公立大学法人 愛知県立大学

担当 学術情報部 研究支援・地域連携課
上嶋

電話 0561-76-8843

「愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト」シンポジウム開催のご案内

文系・理系・看護の5学部を擁する愛知県立大学（以下「愛県大」）の新たな底力を発信するため、「愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト（※）」の一環として、5学部連携によるシンポジウム「愛県大は災害にどう向き合えるかー5学部からのアプローチ」を開催します。

5学部で行われている「命の尊厳」についての教育・研究成果を発信し、災害弱者（乳幼児、高齢者、傷病者、障害者、外国人など）に対して、各学部が独自の視点で何を考え、何ができるのか、ということに参加者とともに考える機会にしたいと考えています。

一般の方々の参加、特に地域で防災や福祉などに関わる方にお越しいただきたく、貴社でお取り上げいただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、シンポジウム開催に変更が生じる場合は、愛知県立大学周年記念特設WEBサイト（<https://www.aichi-pu.ac.jp/anniversary/>）にてお知らせいたします。

1. 日 時：

11月1日（日）9：30～12：30

2. 会場等：会場参加およびオンライン開催の併用で実施します。

(a) 愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201

(b) オンライン（後日、申込者に参加方法をご連絡します。）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場の換気や座席の距離確保などの対策を行います。また、会場参加者にはマスク着用などにご協力いただきます。

3. 対 象

一般の方（特に地域で防災や福祉などに関わる方）

4. 定 員

会場参加：100名

オンライン参加：100名

5. 参加費

無料

6. 申込期間

9月1日（火）～

※申込受付は先着順とし、定員に達し次第、締め切ります。

7. 申込方法

会場およびオンライン参加のいずれの場合も、愛知県立大学地域連携センターの Web サイト（以下、URL）からの申し込みとなります。

【申込ページの URL】

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/koza/018239.html>

7. 内 容

(1) 学部長からの発信 — 5学部それぞれの目線から—

- ① 「災いから立ち直る人間社会の力」
外国語学部長 竹中克行（たけなか かつゆき）
- ② 「文化で命と暮らしを救う」
日本文化学部長 大塚英二（おおつか えいじ）
- ③ 「災害弱者に寄り添う専門職を育てる」
教育福祉学部長 山本理絵（やまもと りえ）
- ④ 「災害時に生命（いのち）を守る、生活（くらし）を支える」
看護学部長 柳澤理子（やなぎさわ さとこ）
- ⑤ 「社会を支える情報科学の拡がり」
情報科学部長 神山齊巳（かみやま よしみ）

(2) 特別報告 —ハイチ地震の経験から—

「自然災害と国際協力」

二石昌人（ふたいし まさと）氏

（元ブルキナファソ駐箚特命全権大使／元国際緊急援助医療チーム団長）

(3) 現場の声 —住民と接する場から—

住民と接する県内の自治体や団体の職員から、現場における課題や愛県大に対する期待について語っていただきます。

※「愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト」:

“「いのち」の学びと探究”という愛県大のビジョンを反映した活動であり、文系・理系・看護を含めた5つの学部から成る本学の特徴を活かし、愛知県の公立大学として災害弱者やその支援に関わる教育・研究・実践の底力を県民の皆様に発信すると同時に、さらに今後、災害弱者対策・支援に関わる研究・教育・実践の拠点になることを目指すプロジェクトです。この目的を達成するため、学内外に向けた様々な企画・活動を実施します。